

デフリンピックとデフバスケを知ろう

実施学校名

日野市立日野第七小学校

日時

令和7年10月31日（金）

場所

体育館

プログラム
概要

- 東京2025デフリンピック大会（11月15日開幕）に出場するデフバスケットボール日本代表選手、越前由喜氏、手塚清貴氏、山田洋貴氏を講師に迎え、デフバスケットボールとデフリンピックの魅力について学びました。
- 児童は、一般のバスケットボールと異なるルールや、声を使わずにプレーするための手話やジェスチャーなどを学びました。また、代表選手と試合をする特別な体験を通して、デフスポーツへの興味や関心を高めるだけではなくデフ（ろう者）への理解も深まりました。

体験風景

1 | 講師紹介



講師が、11月に東京で開催されるデフリンピックの日本代表であることや、手話でニックネームなどの自己紹介が手話通訳士より伝えられると、児童は事前に学習していた手話の拍手を送っていました。

2 | 講和



児童は、審判の合図が笛ではなく旗やゴール板の光で選手へ伝えられること、選手間で手話・サイン・アイコンタクトを使ってコミュニケーションすることなど、デフバスケットボールの特徴をクイズ形式で学びました。

3 | アイコンタクトを使ったバス練習



児童は、選手間の重要なコミュニケーション手段であるアイコンタクトを使って、講師が目を閉じた方向でパスを受け取り、そのままゴール下へ移動してシュートを打つ練習を体験しました。

4 | 試合



チーム別の試合では、現役日本代表選手である講師を相手にコート内を走り回る児童と、デフリンピックへ向けて作られた手話応援「サインエール」や元気な声援を送る児童の姿が見られました。

参加した児童の声・反応



- 忙しい中来ていただきありがとうございました。久しぶりにバスケットボールをすることができて楽しかったです。デフリンピックでもがんばってください。
- 講師と一緒にバスケができるくてすごく楽しかったです。手話やデフバスケを教えてくれてありがとうございました。
- 講師が試合で3Pシュートをたくさん打っていたのがすごいと思いました。それでも、みんなとの連係プレーでシュートが入り、試合で勝てたことが一番嬉しかったです。